

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル		
	論文の日本語タイトル	基底細胞癌. 全国アンケートの集計と説明	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCQ5-3	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID	1995094368	
	雑誌名	Skin Cancer	
	雑誌 ID		
	巻	9	
	号	1	
	ページ	80-3	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (1)	
	発行年月	1994	
	著者情報		氏名
筆頭著者		石原和之	国立がんセンター中央病院
その他著者 1			
その他著者 2			
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	基底細胞癌の疫学調査	
	研究デザイン	コホート研究	
	セッティング	全国の皮膚科施設へのアンケート調査	
	対象者	基底細胞癌（1987～1991 年）	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 1 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）		
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	BCC の発生数と背景因子	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	1) 1987～1991 年の間に総数 2806 例（男性 1470、女性 1336）が登録された。 2) 職業：戸外労働者が 394 例（23.8%） 3) 多発例：160 例（6.3%） 4) 発症時期：2 年前 980 例（38.6%）、5 年以上前 859 例（33.8%）、2～5 年 580 例（22.8%） 5) 発症母地：母斑様 387 例（63.3%）、熱傷瘢痕 108 例（17.7%）、色素性乾皮症 44 例（7.2%）、外傷瘢痕 31 例（5.1%）、放射線障害 24 例（3.9%） 6) 初発部位：顔面 1986 例（71%）ほか露出部位が 2402 例（85.6%）、体幹部 108 例（3.8%）。 7) 臨床症状については、色・症状・大きさ・皮下浸潤・リンパ転移・遠隔転移について各々例数が記載されている。 8) 治療に関して：手術 2721 例（98%）、放射線 21 例、化学療法 29 例。	

	結論	日本においては手術治療が主体であり、その他の治療がほとんど行われていない。
	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	神谷秀喜
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（Ⅳ） 日本においては手術治療が主体であり、その他の治療がほとんど行われていない事実を示す。